

国政も町政も憲法が息づく政治を

お元氣ですか

のぶあきです

別れと出会いの季節から早やひと月が過ぎようとしています。

♪いま、未来の扉を開くとき 悲しみや苦しみは いつの日か喜びに変わるだろう アイ ビリーブ イン フューチャー 信じてる♪ 最高に盛り上がる歌声、開く大きな口、まるまる輝く瞳、まっすぐ前を向いた表情。親、先生、周りの大人たちへの全幅の信頼を寄せていることが痛いほど感じられた西小学校入学式の光景です。

職員による税金の横領事件で町政への信頼が根底から揺らいでいる中、まっすぐ見つめる子供たちの素直な心に、大人は、とりわけ、町政や社会の指導的役割を果たすべき位置にある大人達がどう応えるのか、鋭く問われるのではないか、そんな思いが湧き上がる一場面でした。

だれもが安心して暮らせる町へ

町長の解職請求運動の「取り下げ」が報道された後、私たちに寄せられた声の一部を紹介すると・・・

▼なんで最後までやらんのか、教えてほしい▼共産党さんが参加しなんだことは正解やったね。▼町政の何を改善し、どう立て直すのか、次期町長はどんな人がふさわしいのか、ビジョンを示さないままスタートさせたこと自体が失敗▼両派に別れてのいがみ合いはやめるべきや。信頼に足る町政、町民が暮らしやすい町をどう作るかを全ての議員で活発に話し合ってほしい。『あいつは氣にくわない』という感情だけで、議員は判断しないでほしい。▼共産党が言っているから、という理由だけで、取り合わないことをしていたら、ええ町にならないと思う▼町長さんだけが悪いわけではない。実際の仕事をするのは課長や職員さんやで、町長さんの首を切るだけでは良くならん・・・など様々です。

町長の解職請求運動が頓挫したことで、

北川町政が「全てよし」となったわけでもありません。官製談合のような利権・不正の町政もゴメンです。私たちは、子育て応援の充実など、だれもが安心して暮らせる甲良町めざし、一つ一つの願いが実現するよう、何よりも不正を一掃し、誇りの持てる甲良町とするため、みなさんと力を合わせてがんばります。

野党統一候補の勝利と

日本共産党の躍進を

当面する参議院選挙は、私たちの暮らしと平和にとって重大な意味を

持つ選挙となります。——暮らしと経営を押しつぶす消費税10%への増税、自衛隊がアメリカの下請けとして海外で殺し、殺される「戦争に参加を可能とした「安保法制」の発効、さらに、戦争放棄を定めた憲法9条をこわし、政権の判断で基本的人権を停止する緊急事態条項」を創設する——安倍暴走政治にストップをかける主催者・国民の審判を下し、憲法が息づく政治を実現する選挙にしようではありませんか。

甲良町が工業団地計画

西明寺も住民も「反対」



「甲良町南部工業団地」の計画用地(上)と、国道307号線沿いの西明寺入口に立つ「反対」看板



日本共産党 西澤町議が追及

湖東三山の二つ、西明寺甲良町西明寺の近くで、町が工業団地の造成を計画。併せてゴミ焼却施設の建設計画も浮上していることがわかりました。これに対し、西明寺は「建設反対」の看板を立て、地域住民からは「環境破壊はやめて」「美しい

西明寺と隣り合っているが、不安を感ずる声が出ています。町によると、2014年に大林組から無償譲渡された山林約9万坪の内、勾配がきついため5万坪を除いた部分を「甲良町南部工業団地」として計画。12・8万坪を民間業者が譲渡

い西明寺と隣り合っているが、不安を感ずる声が出ています。先月の町議会は、日本共産党の西澤伸明町議が、土地の利用が「工業団地である」ことを求められていることを批判。「一度自然を壊してしまえば、二度と戻らず、慎重な検討が必要だ」と町の姿勢を追及しました。

（今年度）し、企業を誘致し、整備事業費12億4000万円、残りの土地も第2次開発を予定しており、人口減少対策が目的とされています。「三焼却施設は昨年12月町議会でも地元町議が「早く実現を」と発言。地元でも建設候補地への立候補の声があがっていました。しかし、周辺は絶滅危惧種を含む貴重な植物が生育する自然の宝庫です。西明寺の中野英勝町議は、天白草の教えを示して「自然と共生しないといけない。自然破壊はだめです」と言います。住民からは「工業排水はここに流れるのが「工事車両で交通渋滞が起ころ」などの不安の声が出ています。

喝!! 「自然破壊はダメ」